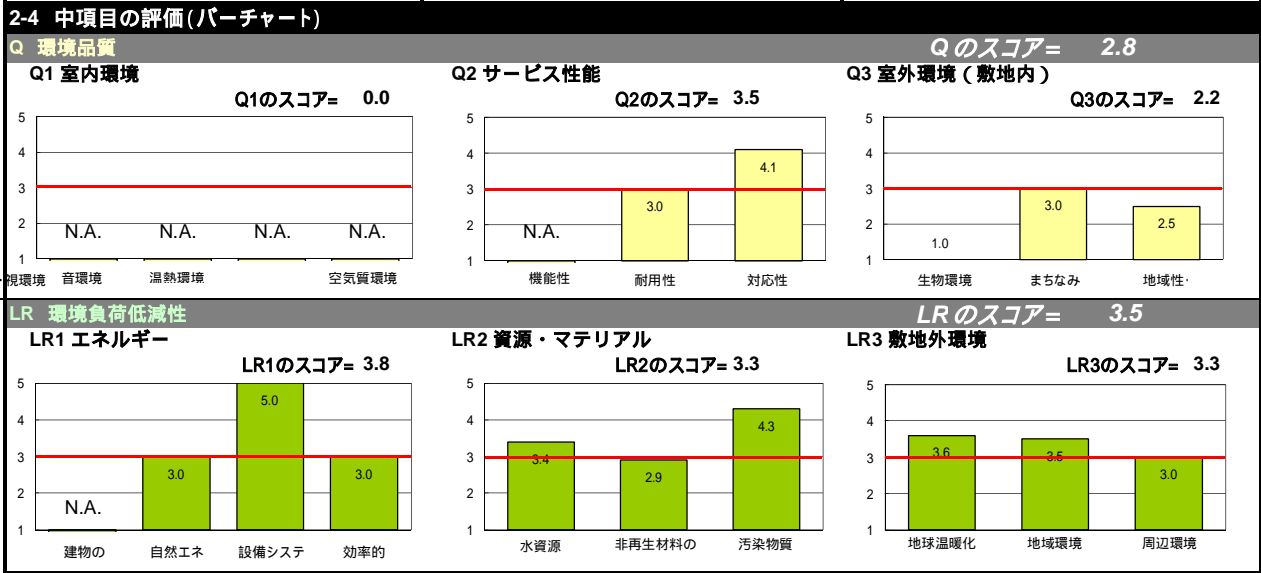
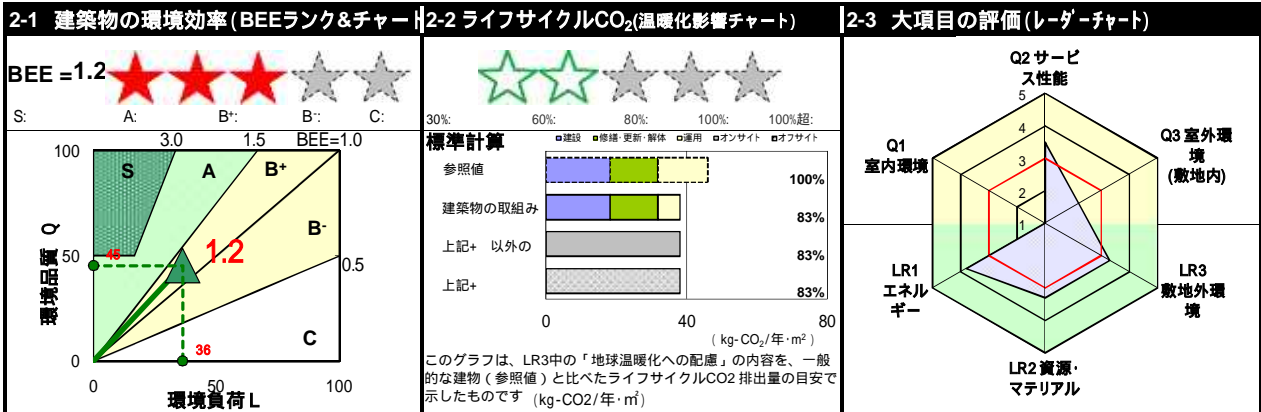


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	SEL-J棟	階数	地上7F
建設地	厚木市長谷260番62	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火指定なし	平均居住人員	5人
気候区分		年間使用時間	3,750時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年1月 0.0	評価の実施日	2013年4月1日
敷地面積	2,836 m ²	作成者	(株)小島組
建築面積	1,372 m ²	確認日	2013年4月1日
延床面積	6,666 m ²	確認者	(株)小島組

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項

総合	その他
約18%超の緑化面積を確保し、周辺環境にあわせた沿道緑化、壁面後退、見通せるフェンス等を配慮した上で配置計画・建物計画を行った。	建設工事における排出土再現等に努めた計画をした。
Q1 室内環境 「倉庫」により評価対象外	Q2 サービス性能 階高にゆとりをとり、将来想定される改修に対応できるように計画した。
Q3 室外環境 (敷地内)	地域の建築協定(任意)により、沿道緑化、壁面後退、見通せるフェンス等を計画した。
LR1 エネルギー E R R 値 = 55.9%	LR2 資源・マテリアル 節水型便器を採用した。
	LR3 敷地外環境 周辺道路沿いを緑化した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される